

演題名	地域における酪農支援事業の一体的推進		
発表者 氏名	橋本 淳一	所属	伊那家畜保健衛生所
<p>乳価低迷・飼料価格高騰等の厳しい酪農情勢に対応するためには、関係機関が連携したより実効性の高い取り組みが必要。そこで診療獣医師の協力の下、当所の乳質向上指導事業、農業共済組合の特定損害防止事業及び農協の生産指導事業を一体化させ、生産性向上と疾病防除に向けた新たな取り組みを試行。各農協が乳質に問題のある重点指導農場として選定した 17 農場の個体乳及びバルク乳の細菌検査（177）、血液・生化学検査（90）、寄生虫検査（170）を実施したところ、9 農場で伝染性乳房炎の蔓延が確認。また、家畜保健衛生所が中心となり 3 農場について搾乳立会、代謝プロファイル、飼料給与診断に基づき改善を指導。その結果、飼養管理が改善した一農場では、バルク乳の体細胞数が 59 から 29.6 万/ml に、生菌数も 14,000 から 1,170CFU/ml へと大幅に減少。今後とも、地域関係機関が一体となった指導体制の確立が望まれる。</p>			